

社会福祉法人未来こどもランド

放課後等デイサービス すまいる・キッズ&すまいる・ツリー支援プログラム

法人理念

『こどものため 保護者のため 地域のため』

事業所情報

事業所名 社会福祉法人未来こどもランド 放課後等デイサービス すまいる・ツリー

法人理念 『こどものため 保護者のため 地域のため』

支援方針

- 1.安心して過ごせる居場所を目指します
- 2.生活に必要な力を育みます
- 3.集団生活の中で社会性や豊かな人間関係を築ける力を養います

営業時間 12:00～18:00

送迎実施の有無 あり

主な行事等

季節のイベント（七夕、クリスマス、お正月、節分） 夏季戸外活動、1日活動、すまいる・ステップとの合同イベント、就労現場見学(すまいる・フォレスト、すまいる・ピーターパン)

職員の質の向上

外部研修の受講 『障害者虐待防止法と虐待防止対策』 『強度行動障害』 『ダウン症の特性の理解について』 『初めての SST 初心者研修』 『各障害の特性理解とその支援』 『発達障害の基礎知識と事例で考えるサービス等利用計画』 『児から者へ支援をつなげるために必要なこと』 『特別支援学校について知り成人期の支援に活かす』

内部研修の受講 『虐待防止及び身体拘束の適正化』 『感染症等まん延防止』 『安全運転研修』 『不審者対応訓練』 『接遇マナー研修』

言語・コミュニケーション

●発声・意思の伝達・言語表出・指差し・サイン等、やりとりに必要な基礎的スキル獲得につながる活動や場面設定を行う。

- ・はじまりの会での自己紹介、おわりの会での「今日楽しかったこと」の発表、挨拶、係活動の報告等を通して相手に『伝える』場面の設定、経験する機会を設ける。
- ・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情・指差し・身振り・サイン等を用いて、意思のやりとりが出来るように支援していく。
- ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援していく。

認知・行動

●一人一人の認知の特性を理解し、情報が適切に取得され処理できるよう支援を行う。個々や場面に合わせ、写真・イラスト、文字等を用いた視覚ツールを活用した環境設定を行う。

- ・ホワイトボードに書かれた1日のスケジュールを個々に確認したり、はじまりの会でその日の活動の流れと内容を伝える時間を設ける。
- ・口頭での伝達・視覚ツール・工程表等からの情報の取得や理解ができ、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができるように支援していく。

健康・生活

●健康状態の把握と対応や、生活に必要な基本的スキル獲得に向けた支援や生活環境の調整を行う。

- ・身支度、食事、排泄等の基本的技能を獲得できるよう、視覚ツールや補助具の使用など、生活の場面における環境設定を行う。
- ・利用者の障害特性や発達の過程に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気づけるように、きめ細やかな観察を行う。

支援内容

【本人支援】

『放課後等デイサービス ガイドライン』に基づく5領域の視点等を踏まえたアセスメントを行い、発達段階・特性・ニーズに応じた『個別支援計画』を作成している。様々な活動や体験を通じて、生活に必要な力や、社会生活を円滑に営む為の基礎を身につけられるように、活動内容や環境設定、個々に合わせた支援、配慮に留意している。



人間関係・社会性

●利用者が主体となり、支援者は利用者の気持ちに寄り添い、受容して、利用者が自分らしく過ごせるように支援する。

- ・感情の揺れや、不安になった際に、そばにいる支援者が相談に乗ることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけることができるように支援する。
- ・他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援する。
- ・遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を支援する。
- ・集団参加の為の手順やルールを理解を促す支援を行う。又、集団活動を通じて、仲間づくりにつながるよう支援する。

運動・感覚

●日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の発達を運動活動や自由活動を通じて支援していく。

- ・体育館にて、サーキット運動やボール運動などの活動を行い、運動・動作の基本的技能の向上を図る。また、自由活動時には遊具(トランポリン・ブランコ等)を使った、粗大運動を行う。
- ・机上や指導室にて、はさみや筆記具、身近な道具操作につながる活動(工作・調理活動)を行う。
- ・感覚の特性やその日の心身のコンディションに合わせた環境調整に留意する。

支援内容

【家族支援・移行支援・地域支援・地域連携】

本事業所が、本人や家族にとって安全で安心して過ごせる居場所のひとつになるように心がけている。また、『家族支援』を通じ利用者の暮らしや育ちが豊かになるよう支援している。利用者が多くの時間を過ごす家庭や地域が安心して暮らせる場になるように『移行支援』『地域支援』『地域連携』を行っている。



家族支援

- ・保護者会 年2回実施
 - ・年2回以上の個別面談
- ※上記面談とは別に、日常生活の困りごとや悩みごと、将来に向けての不安を聞き取り、解決に向けた相談援助を実施(希望者のみ)

地域支援・地域連携

- ・法人内コミュニティーカフェにて『こども食堂』を開催
- ・相談支援事業所との連携



移行支援

- ・卒業を控えた保護者に進学先に関する情報の発信と相談援助
- ・すまいるフォレスト、すまいるピータパンの見学実施